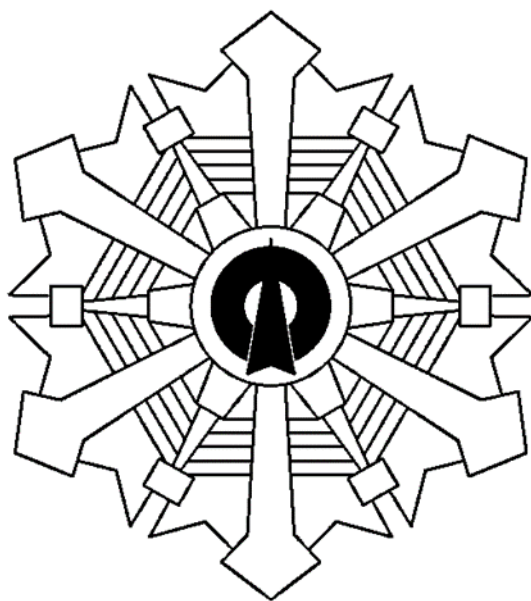


消 防 年 報

令和2年（2020）版



島根県大田市消防本部

は し が き

この消防年報は、大田市消防本部における消防の現勢及び令和2年中における消防業務に関する諸般の資料を集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般にご理解いただくために編集したものです。

なお、この内容については令和3年4月1日現在をもって集録してありますが、これにより難いものについては当該表にそれぞれ記載する年月日で表しております。

令和3年7月

大 田 市 消 防 本 部

絵で見る消防年報

令和3年4月1日現在

管内人口	管内世帯数	管内面積	消防署所の数
 33,624人	 15,567世帯	 435.71km ²	 消防本部 1 消防署 2 出張所 1
消防職員の数	平均年齢	消防車の数	救急車の数
 84名	 37.3才	 6台	 6台
火災件数 (令和2年中)	出火原因 (令和2年中)	住宅火災警報器 設置率	救急出場件数 (令和2年中)
 25件	 1位 焚き火	 84%	 1,682件
防火対象物数	危険物施設数	消防水利 (公設)	消防団員数
 1,508棟	 製造所 2 施設 貯蔵所 127 施設 取扱所 62 施設	 消火栓 532基 防火水槽 296基	 定数 844人 実員 844人

目 次

1. 概 況

1. 大田市消防本部管内図	1
2. 管内の面積・人口・世帯数	2
3. 消防の沿革	3
4. 歴代消防長	11
5. 消防庁舎等の現況	12

2. 総 務 編

1. 組織及び機構	13
2. 事務分掌	15
3. 消防職員配置状況	20
4. 階級別勤務年数調	21
5. 階級別年齢調	21
6. 常備消防予算及び主要事業	22

3. 予 防 編

1. 防火対象物現況調	23
2. 数量別・類別製造所等設置数	24
3. 危険物製造所等の申請取扱件数	25
4. 消防事務手数料徴収状況	25
5. 諸届（願）処理状況	26

4. 警 防 編

1. 火災	
概要	27
出火原因別火災件数・損害額	28

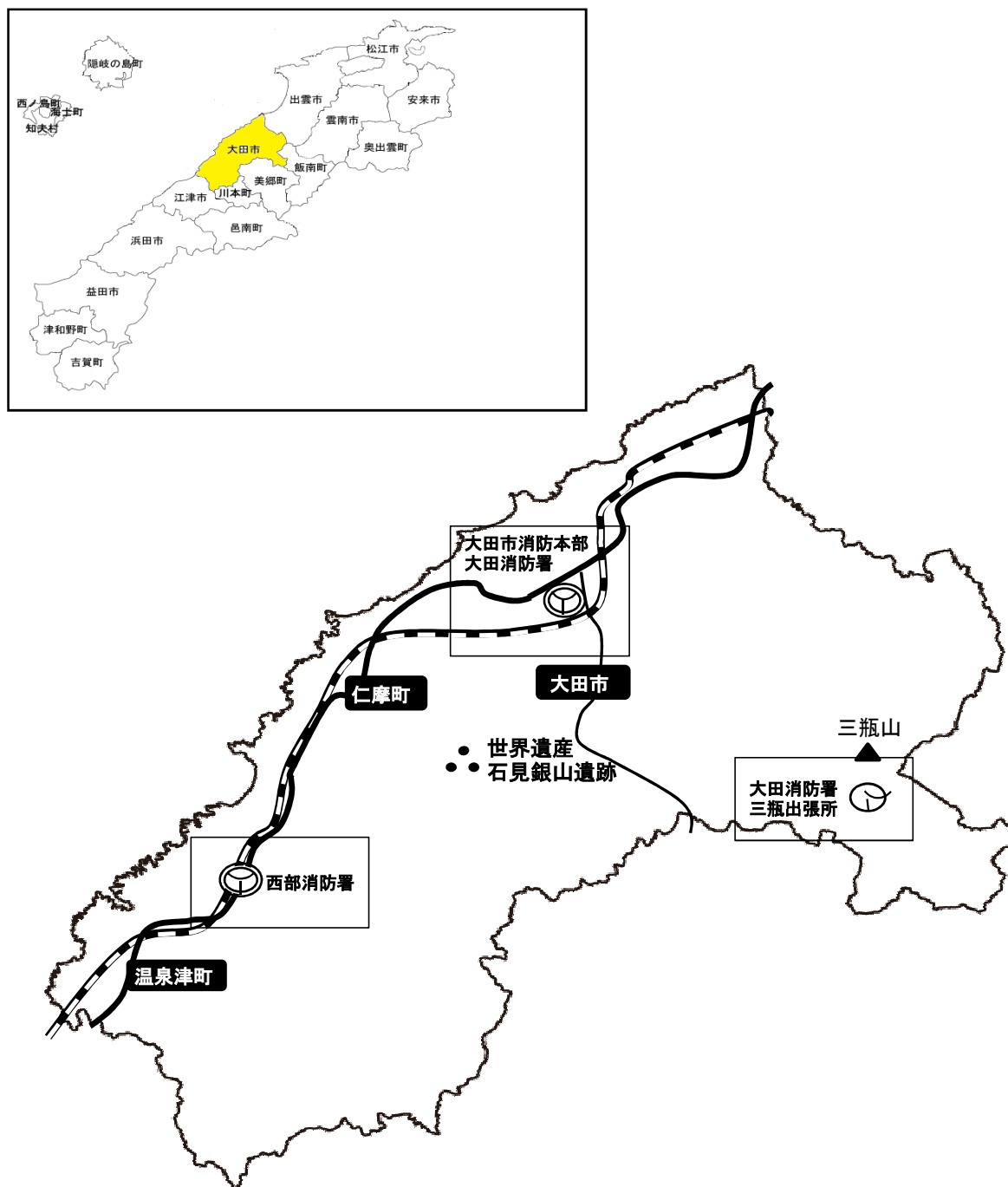
町別火災件数及び損害額	29
月別町別火災発生状況	30
2. 救急	
概要	31
署所別救急出場件数及び搬送人員	32
月別出場件数及び搬送人員	33
町別救急出場件数	34
年齢・傷病程度別搬送人員	35
ドクターヘリ地区別搬送人員	36
3. 救助	
概要	37
防災ヘリコプター要請件数	37
4. 消防	
消防車両現有数	38
無線通信施設	39
消防水利地区別状況	40

5. 消 防 団 編

1. 大田市消防団の沿革	41
2. 歴代消防団長	51
3. 組織及び報酬等	52
4. 編成装備	53

1. 概 況

1. 大田市消防本部管内図



2. 管内の面積・人口・世帯数

区分	面積 (km ²)	全人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数(世帯)
大田市	435.71	33,624	16,125	17,499	15,567

2. 管内の面積・人口・世帯数

町 名		世帯数(世帯)	人 口 (人) * 外国人含む			管内面積 (Km ²)
			男	女	計	
大 田 町		3,738	3,977	4,188	8,165	435.71
川 合 町		838	752	898	1,650	
三 瓶 町	池 田	300	305	351	656	
	志 学	248	235	281	516	
	多 根	86	86	106	192	
山 口 町		130	126	149	275	
富 山 町		233	222	248	470	
朝 山 町		189	201	252	453	
波 根 町		515	588	611	1,199	
久 手 町		1,764	1,887	2,068	3,955	
鳥 井 町		486	541	570	1,111	
長 久 町		1,401	1,455	1,591	3,046	
静 間 町		543	620	668	1,288	
五 十 猛 町		541	640	600	1,240	
大 屋 町		156	141	153	294	
久 利 町		550	664	666	1,330	
大 森 町		196	182	215	397	
水 上 町		224	233	222	455	
祖 式 町		155	140	167	307	
大 代 町		176	148	175	323	
温 泉 津 町	湯 里	253	221	266	487	
	温 泉 津	507	475	541	1,016	
	井 田	262	254	265	519	
	福 波	323	303	305	608	
仁 摩 町	仁 万	1,081	1,093	1,258	2,351	
	宅 野	217	227	254	481	
	大 国	182	172	189	361	
	馬 路	273	237	242	479	
合 計		15,567	16,125	17,499	33,624	

3. 消防の沿革

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1958	昭和33	7	1	消防本部・消防署を設置し、職員4名に消防団大田分団より団員30名を消防署勤務員に委託し、常備消防発足。
		10	1	大田町諏訪に木造2階建の庁舎を建築、大田分団から移管した自動車ポンプ2台を配置する。
1960	昭和35	4		消防職員5名増員、以来昭和36年に3名、昭和37年に2名を増員、昭和39年の市立大田中学校の大火を契機に12名、昭和40年2名、救急業務開始に伴い昭和44年に3名と逐年増員され、職員数31名となる。
1961	昭和36	12		水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、昭和38年に超短波無線機の基地局と移動局を設置する。昭和41年度には消防庁舎の新築に着手、翌年5月大田町中心部に鉄筋コンクリート2階建702㎡の新庁舎完成。
1967	昭和42	6		日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受ける。 昭和43年救急業務実施の政令指定を受け、同年1B型救急自動車及び器材を購入し、同年9月1日より業務を開始する。
1970	昭和45	12		大型水槽付ポンプ自動車を購入、更に昭和46年春、国立公園三瓶山に天皇皇后両陛下をお迎えして開催された全国植樹祭を期して林野火災の撲滅を計るため林野火災工作車を購入する。
1972	昭和47	3	21	島根県知事へ大田市外2町環境衛生組合理約の変更許可を申請。
		3	28	規約変更許可に基づき大田市外2町消防衛生組合（大田市、温泉津町、仁摩町）に準備班を設け、準備業務を開始する。
		5		救急自動車1台を購入する。
1973	昭和48	1	10	大田消防署三瓶出張所庁舎竣工。
		3		普通消防ポンプ自動車2台を購入する。
		3	31	大田消防署西部分署庁舎竣工。
		4	1	消防無線は、本部（署）基地局1・移動局7・携帯無線局2、西部分署固定局1・移動局2、三瓶出張所固定局1・移動局1とし、増設整備完了し業務を開始。20名の職員の採用をはかり、消防本部9名、大田消防署26名、大田消防署西部分署11名、大田消防署三瓶出張所5名、総員51名にて広域消防業務を開始。
1974	昭和49	4	1	8名の職員を採用し消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署15名、大田消防署三瓶出張所7名、総員59名にて広域消防業務を推進している。
		7	1	1名の職員を補充採用する。
		8		小型動力ポンプB3級1台、同年12月消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し増強した。同年11月大田石油株式会社より、救助工作車の寄贈を受けた。
1975	昭和50	4		2B型救急自動車及び器材を購入三瓶出張所へ配置。
1976	昭和51	7	1	2名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所7名、総員61名となる。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1977	昭和52	5		携帯無線機（1W）1基購入、同年第1回島根県救助技術大会の開催にともない救助器具の購入、訓練を開始し、救助技術の向上につとめ参加する。同年7月1日3名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署29名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所9名、総員64名となる。同年12月17日 島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車の寄贈を受け西部分署へ配置した。
1978	昭和53	5		携帯無線機（1W）3基購入、同年7月救助工作車（寄贈）に無線移動局を設置し整備を強化した。同年7月1日職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署27名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員65名となる。
1979	昭和54	7	1	職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員66名となる。
1980	昭和55	9	12	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（火災保険号「さんべ」）1台の寄贈を受け、大田消防署三瓶出張所へ更新配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官表彰の表彰旗を受ける。
		3	26	島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車1台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
		11	26	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ）を購入、大田消防署に配置する。
1982	昭和57	4	1	職員異動に伴い1名を採用する。
		9	15	日本消防協会から2B型救急自動車1台の寄贈を受ける。大田消防署に配置する。
1983	昭和58	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
1984	昭和59	4	1	消防長専任となる。
		7	6	大田消防署西部分署仮眠室増築（10㎡）。
		11	12	島根県共済農業協同組合連合会から2B型救急自動車1台の寄贈を受け、西部分署に配置する。
1985	昭和60	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
		11	21	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000ℓ）を購入、大田消防署に配置する。水槽付大型消防自動車（2号車）を廃車する。
1987	昭和62	2	20	普通消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、西部分署に配置する。
		4	1	通信網強化のため温泉津町高山に中継局を新設する。単一无線設備を多重無線設備に変更し、消防団緊急伝達システムを導入する。消防通信指令装置（FD-11）を新設し、通信指令室を増改築する。 消防法の改正を受け大田消防署に救助隊発足。
1988	昭和63	2	29	救助工作車（Ⅱ型）購入、大田消防署に配置する。
		6	3	日本防火協会から広報車の寄贈を受けた。大田消防署に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1988	昭和63	8	1	職員 1 名を採用する。
		8	2	日本消防協会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 三瓶出張所に配置する。
1989	平成元	2	8	普通消防ポンプ自動車（C D-I 型）を購入、大田消防署に配置する。
1990	平成2	3	9	普通消防ポンプ自動車（C D-I 型）を購入、大田消防署に配置する。
		3	30	大田消防署三瓶出張所増築（9 6 m ² ）。
		4	1	消防本部、消防署の組織を一部あらため本部 2 課を 3 課制とし、大田消防署西部分署の分隊を小隊とした。
		10	27	島根県共済農業協同組合連合会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 大田消防署に配置する。
1991	平成3	3	30	消防本部、大田消防署庁舎改修及び増築工事（3 7 3 m ² ）・訓練塔新設。
		4	1	職員異動に伴い 1 名採用する。
		8	2	日本消防協会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		9	11	日本損害保険協会から普通ポンプ自動車（火災保険号「さんべ」）1 台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
1992	平成4	4	1	職員異動に伴い 1 名採用する。
		5	18	広報車を更新し大田消防署に配置する。
		7	20	林野火災資機材輸送車を更新し、大田消防署に配置する。
1993	平成5	4	1	機構改革に伴い、大田消防署西部分署を西部消防署とした。消防力の強化を図り、職員 1 2 名を採用し、消防本部 1 0 名、大田消防署 3 4 名、西部消防署 2 3 名、大田消防署三瓶出張所 1 1 名、総員 7 8 名となる。
		10	1	島根県防災航空隊発足に伴い、島根県へ航空隊員として職員 1 名を派遣。
		11	29	2 B 型救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
1994	平成6	1	20	西部消防署増築（6 4 m ² ）。
		3	8	安田生命保険相互会社から 2 B 型救急自動車の寄贈を受け西部消防署に配置する。
		3	29	署所の固定局無線設備の老朽化及び管内の通信不感地帯を解消するため、西部消防署の通信方式を既設の高山中継基地局を利用した方式に変更改修、又、三瓶出張所の無線設備を従来方式に更新、更に消防本部には基地局を新たに設置した。併せて、大規模災害の対応に備えるため、消防本部及び三瓶出張所の基地局には、全国共通波を装備し、より一層の消防業務の拡充を図った。
		4	1	職員 1 名を採用し、総員 7 9 名となる。消防力強化に伴い、大代町の救急業務は西部消防署の管轄区域とした。
		4	4	救急救命東京研修所へ 2 名入校。 平成 6 年 1 1 月 4 日、国家試験に 2 名合格する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1995	平成7	1	17	阪神淡路大震災発生に伴い、自治省消防庁より応援要請があり消火部隊（5名）神戸市へ災害派遣する。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。
		4	4	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成7年11月2日、国家試験に2名合格する。
		9	5	緊急消防援助隊登録（救急部隊）。
1996	平成8	3	22	高規格救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
		5	1	高規格救急自動車の運用を開始する。
		10	14	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成9年4月18日、国家試験に2名合格する。
1997	平成9	4	1	島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		10	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成10年4月17日、国家試験に合格する。
1998	平成10	4	1	退職に伴い職員1名採用する。
		10	7	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成11年4月14日、国家試験に2名合格する。
1999	平成11	4	1	退職に伴い職員2名採用する。
		4	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成11年11月10日、国家試験に合格する。
		6	1	大田市、温泉津町、仁摩町の1市2町では、地域振興及び介護保険を広域的に推進するため、大田市外2町消防衛生組合を母体とした大田市外2町広域行政組合に組織を変更する。
		11	18	高規格救急自動車を購入し、西部消防署に配置する。
		12	10	2B型救急自動車を購入し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
2000	平成12	4	1	退職に伴い職員1名採用する。 島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		8	21	消防指揮車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	21	大田地区危険物保安協会から防火広報車の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		12	11	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新、大田消防署に配置する。
2001	平成13	4	1	退職に伴い職員2名を採用する。
		10	16	2B型救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		11	9	水槽付ポンプ自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2002	平成14	3	31	緊急消防援助隊登録（救助部隊）。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2002	平成14	4	1	退職に伴い職員 2 名採用する
		9	2	2 B 型救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2003	平成15	1	17	救助工作車（Ⅱ型）を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員 2 名採用する。 島根県へ防災航空隊員として職員 1 名を派遣。
		10	7	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 1 6 年 5 月 1 2 日、国家試験に合格する。
		11	29	大田市外 2 町広域行政組合発足 3 0 周年を記念し、式典及び記念誌を発行する。
2004	平成16	4	1	退職に伴い職員 2 名採用する。
		10	4	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 1 7 年 4 月 1 9 日、国家試験に合格する。
2005	平成17	2	7	普通消防ポンプ自動車（C D - 1 型）を更新し、西部消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員 7 名採用する。 三瓶出張所職員を大田消防署に含め大田消防署より派遣する。
		4	4	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 1 7 年 1 1 月 3 0 日、国家試験に合格する。
		10	1	大田市、温泉津町、仁摩町の 1 市 2 町の合併により新大田市となり、大田市消防部、大田市消防本部に組織及び名称を変更する。
		10	3	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 1 8 年 4 月 1 9 日、国家試験に合格する。
2006	平成18	2	23	林野火災資機材輸送車を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	島根県へ防災航空隊員として職員 1 名を派遣。 退職に伴い職員 6 名採用する。総員 7 8 名となる。 三瓶出張所職員を専属に配置する。
		9	14	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 1 9 年 5 月 7 日、国家試験に合格する。
2007	平成19	1	15	高規格救急自動車を購入し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員 6 名採用する。総員 7 8 名となる。
		9	13	救急救命九州研修所へ 1 名入校。 平成 2 0 年 4 月 3 0 日、国家試験に合格する。
		10	31	普通消防ポンプ自動車（C D - 1 型）を更新し、大田消防署に配置する。
2008	平成20	4	1	退職に伴い職員 5 名採用する。総員 7 8 名となる。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2008	平成20	7	15	新庁舎建設準備委員会を立上げ、新庁舎建設に職員が取り組む。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成21年4月14日、国家試験に合格する。
		10	10	大田消防署設置の通信指令台を更新する。
2009	平成21	4	1	島根県へ消防防災航空隊員として職員1名を派遣。 退職に伴い職員2名採用する。総員76名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成22年4月13日、国家試験に合格する。
		10	23	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署に配置する。
		12	10	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2010	平成22	4	1	退職に伴い職員4名採用する。総員77名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成23年4月12日、国家試験に合格する。
2011	平成23	3	12	東北地方太平洋沖地震発生に伴う緊急消防援助隊第1次隊～2次隊（救急隊2隊8名）を宮城県へ派遣する。
		3	31	緊急消防援助隊追加登録（消火部隊）。
		4	1	退職及び消防力の強化を図り、職員8名を採用する。総員84名となる。
		6	20	大田市役所危機管理室設立に伴い、室長として職員1名派遣。
		9	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成24年4月13日、国家試験に合格する。
		10	3	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
		11	28	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
2012	平成24	4	1	退職に伴い職員3名採用する。島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣。総員83名となる。
		9	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成25年4月8日、国家試験に合格する。
		10	18	石見銀山農業協同組合より指揮支援車1台の寄贈を受け大田消防署に配置する。
		12	20	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2013	平成25	4	1	退職に伴い職員3名採用する。総員84名となる。
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成26年3月31日、国家試験に合格する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2013	平成25	9	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成26年3月31日、国家試験に合格する。
		10	17	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2014	平成26	4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員83名となる。 大田市役所危機管理室へ職員1名派遣する。
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成27年3月31日、国家試験に合格する。
		5	22	大田市消防本部・消防署新庁舎竣工。
		5	27	大田市消防本部・消防署新庁舎竣工式。
		6	1	大田市消防本部・消防署新庁舎において業務開始。
		8	25	平成26年8月豪雨に伴い、島根県緊急消防援助隊3次隊～4次隊（救助隊2隊～30名）を広島県広島市へ派遣する。
		9	1	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成27年3月31日、国家試験に合格する。
2015	平成27	4	1	退職に伴い職員2名採用する。総員84名となる。大田市役所危機管理室へ職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。
		4	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成28年3月31日、国家試験に合格する。
		9	2	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成28年3月31日、国家試験に合格する。
		11	28	高規格救急自動車を更新し、三瓶出張所に配置する。
2016	平成28	4	1	退職に伴い職員4名採用する。総員83名となる。 大田市役所危機管理室へ職員1名を派遣する。 緊急消防援助隊追加登録（救急部隊）
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成29年3月28日、国家試験に合格する。
		9	2	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成29年3月28日、国家試験に合格する。
2017	平成29	4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員82名となる。
		4	5	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成30年3月26日、国家試験に合格する。
		9	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成30年3月26日、国家試験に合格する。
2018	平成30	4	1	2名採用する。総員84名となる。 大田市役所危機管理課へ職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2018	平成30	4	5	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		4	9	午前1時32分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M6.1、最大震度5強）。
		7	7	平成30年7月豪雨災害に伴う島根県緊急消防援助隊1次隊～4次隊（消火部隊～154隊 20名）を広島県呉市へ派遣する。
		8	31	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		10	1	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	26	林野火災工作車を更新し、大田消防署に配置する。
2019	平成31	4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員84名となる。 大田市役所危機管理課へ職員1名を派遣する。
		4	3	救急救命東京研修所へ1名入校。令和2年3月31日、国家試験に合格する。
2020	令和2	2	25	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新し、大田消防署に配置する。
		3	23	総務省消防庁より緊急消防援助隊に係る無償使用（高機能救命ボート）を受け、大田消防署に配置する。
		3	25	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工。
		3	30	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工式。
		4	1	大田消防署三瓶出張所新庁舎において業務開始。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。総員83名となる。
		9	4	救急救命九州研修所へ1名入校。令和3年3月26日、国家試験に合格する。
2021	令和3	3	26	西部消防署新庁舎竣工。
		3	30	西部消防署新庁舎竣工式。
		4	1	西部消防署新庁舎において業務開始。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。大田市役所総務部危機管理課へ職員1名、島根県消防学校へ教官として職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。総員84名となる。

4. 歴代消防長

歴 代	氏 名	就任年月日	退職年月日
初 代	田 原 孝 二 老	昭和33年 7月 1日	昭和41年 4月21日
二 代	福 田 芳 晴	昭和41年 4月22日	昭和43年 3月31日
三 代	津 森 甚 三 郎	昭和44年 8月 1日	昭和45年 3月23日
四 代	祝 部 通 夫	昭和45年 7月10日	昭和54年11月30日
五 代	鈷 子 郎	昭和55年 2月20日	昭和59年 2月19日
六 代	塚 田 操	昭和59年 4月 1日	昭和60年 3月31日
七 代	山 崎 栄 吉	昭和60年 4月 1日	昭和60年 4月24日
八 代	岩 谷 芳 春	昭和60年 4月25日	昭和63年 3月31日
九 代	妹 尾 義 春	昭和63年 4月 1日	昭和63年 4月30日
十 代	大 築 和 之	昭和63年 5月 1日	平成7年 3月31日
十一代	米 原 孝 美	平成7年 4月 1日	平成11年 3月31日
十二代	田 中 清 英	平成11年 4月 1日	平成14年 3月31日
十三代	朝 倉 光 彦	平成14年 4月 1日	平成15年 3月31日
十四代	品 川 昭 治	平成15年 4月 1日	平成16年 3月31日
十五代	石 田 國 雄	平成16年 4月 1日	平成17年 3月31日
十六代	福 田 幸 司	平成17年 4月 1日	平成17年 9月30日
合併初代	福 田 幸 司	平成17年10月 1日	平成18年 3月31日
二 代	松 井 功	平成18年 4月 1日	平成20年 3月31日
三 代	松 本 和 広	平成20年 4月 1日	平成22年 3月31日
四 代	鳥 笥 尾 博	平成22年 4月 1日	平成23年 3月31日
五 代	石 賀 好 喜	平成23年 4月 1日	平成28年 3月31日
六 代	幸 村 卓 己	平成28年 4月 1日	現 在

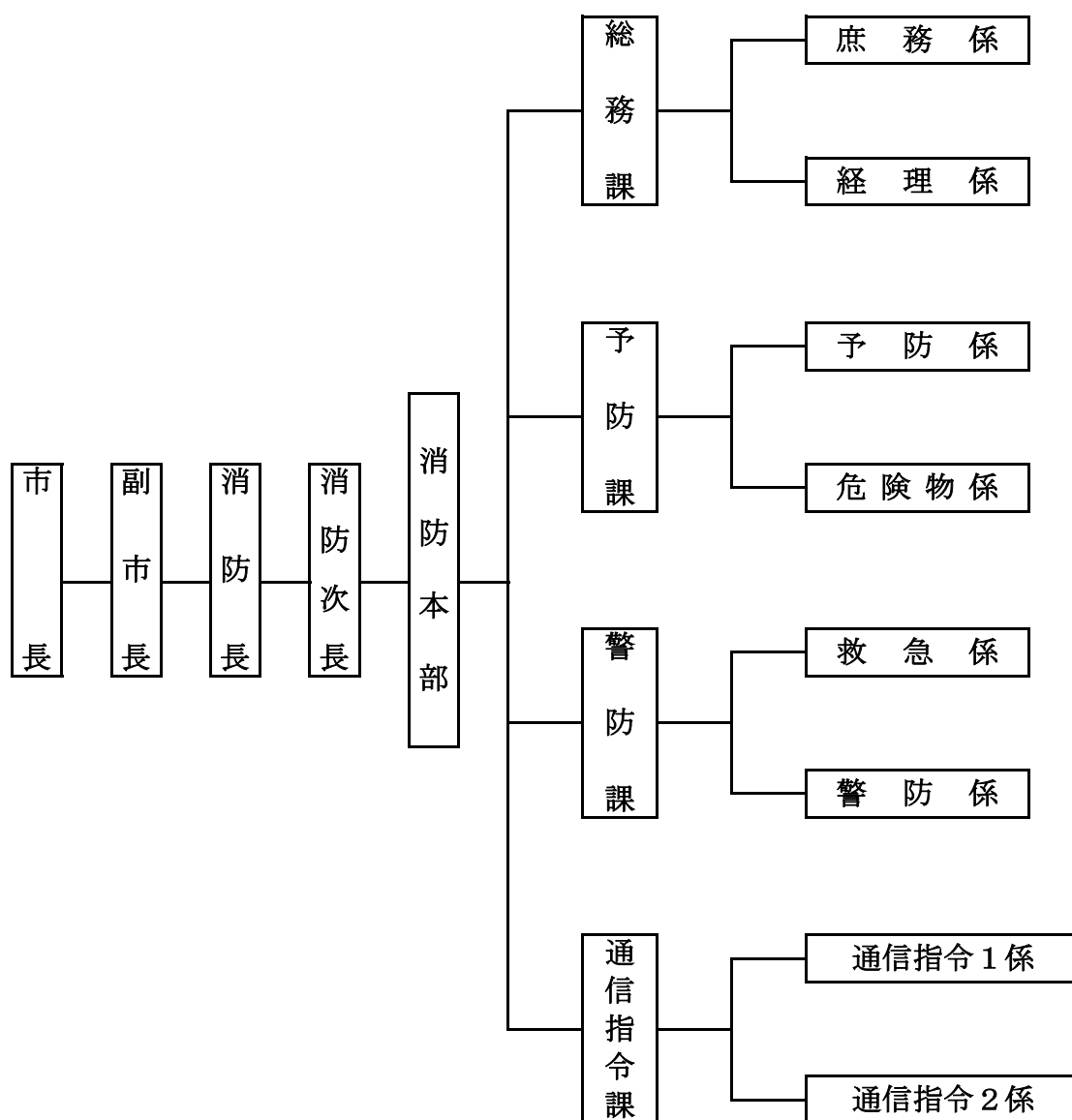
5. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	構 造 階 層	延面積 ㎡	敷地面積 ㎡	摘 要
消 防 本 部 (消 防 署)	大田市大田町大田 イ1番地1	庁舎棟 鉄筋コンクリート造 4階建 訓練塔 鉄筋コンクリート造 5階建	2,977.38 247.20	5,609.06	H26.5.22 竣工
大 田 消 防 署 三 瓶 出 張 所	大田市三瓶町志学 2075番地1	鉄骨造平屋建	284	1,325	R2.3.25 竣工
西 部 消 防 署	大田市温泉津町湯里 1590番地1	鉄骨造平屋建	667.86	3,701.70	R3.3.26 竣工

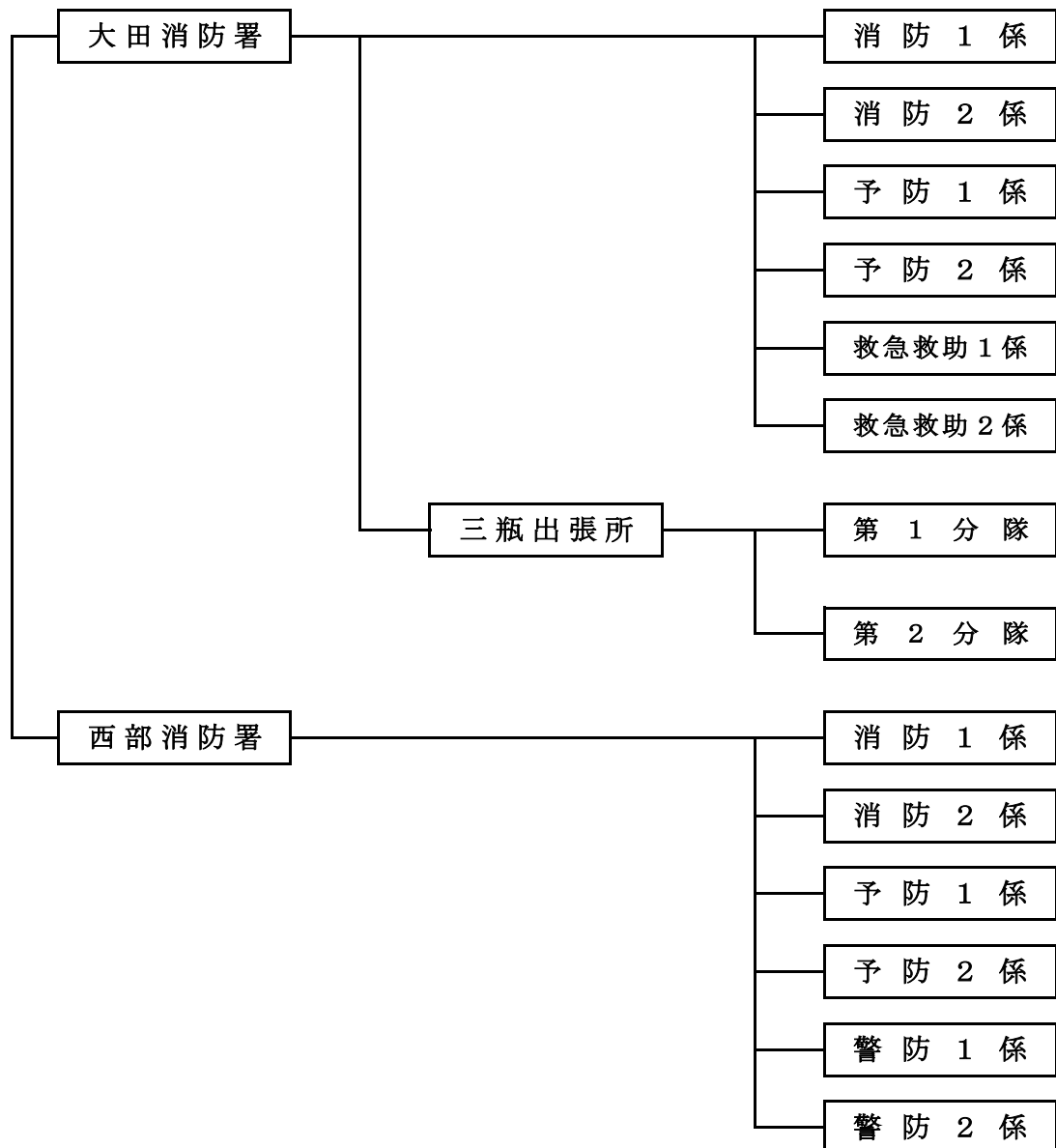
2. 総務編

1. 組織及び機構

消防本部の組織及び機構



消防署の組織及び機構



2. 事務分掌

区分 係	総 務 課
庶務係	1. 組織機構に関すること。 2. 議会及び政策企画会議に関すること。 3. 条例、規則に関すること。 4. 公印の保管に関すること。 5. 公文書の保存、廃棄に関すること。 6. 儀式及び表彰に関すること。 7. 消防統計及び消防沿革に関すること。 8. 要望及び投書の処理に関すること。 9. 消防長会及び消防協会に関すること。 10. 消防職員委員会に関すること。 11. 情報公開及び個人情報保護に関すること。 12. 寄付の採納に関すること。 13. 消防職員の給与及び手当に関すること。 14. 消防職員の安全衛生管理に関すること。 15. 消防職団員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。 16. 消防職団員の福利厚生及び健康管理に関すること。 17. 消防職団員の教養、入校及び研修に関すること。 18. 消防職団員の人事記録に関すること。 19. 消防職団員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。 20. 消防団員の報酬及び退職報償金に関すること。
経理係	1. 消防施策の総合計画に関すること。 2. 予算及び決算に関すること。 3. 事務監査等に関すること。 4. 入札執行事務に関すること。 5. 契約に関すること。 6. 消防庁舎、施設の営繕に関すること。 7. 財産の取得及び処分に関すること。 8. 物品の購入、出納、保管及び処分に関すること。 9. 被服等貸与品に関すること。 10. 補助事業に関すること。

係 区分	予 防 課
予防係	1. 火災予防の企画立案及び防火指導に関する事。 2. 火災予防広報及び広聴に関する事。 3. 火災の原因及び損害調査に関する事。 4. 防火対象物の査察及び措置命令に関する事。 5. 建築物の確認等の同意及び指導に関する事。 6. 火災、防火対象物の統計及び報告に関する事。 7. 消防用設備等の届出、検査及び指導に関する事。 8. 防火管理者の育成及び指導に関する事。 9. 各種防火団体の指導及び育成に関する事。
危険物係	1. 危険物災害防止の企画立案及び指導に関する事。 2. 危険物の規制、許認可、届出及び検査に関する事。 3. 危険物の貯蔵取扱い及び保安指導に関する事。 4. 危険物製造所等の改善及び指導に関する事。 5. 危険物保安監督者及び危険物取扱者の育成指導に関する事。 6. 危険物等による事故、災害等の調査及び報告に関する事。 7. 危険物関係の統計及び報告に関する事。 8. 火薬類の規制、許可、届出及び検査に関する事。 9. 高圧ガスの規制、許可、届出及び検査に関する事。 10. 液化石油ガスの規制、許可、届出及び検査に関する事。 11. 危険物保安協会の事務に関する事。
係 区分	警 防 課
警防係	1. 火災、地震及び風水害等の警戒及び防ぎよに関する事。 2. 消防基本計画に関する事。 3. 消防車両等の設計及び仕様に関する事。 4. 消防水利の設置、指定に関する事。 5. 消防訓練の計画及び指導に関する事。 6. 水防に関する事。 7. 消防相互応援協定に関する事。 8. 緊急消防援助隊に関する事。 9. 島根県防災ヘリコプターに関する事。 10. 防災関係機関との災害に係る連絡調整に関する事。 11. 救助統計及び報告に関する事。 12. 消防団車両、機械器具の維持及び管理に関する事。 13. 消防団の出動に関する事。

係 区分	警 防 課
救急係	1. 救急業務の実施計画に関すること。 2. 救急統計及び報告に関すること。 3. 救急業務高度化の推進に関すること。 4. メディカルコントロール協議会に関すること。 5. 救急車両の設計及び仕様に関すること。 6. 応急手当の普及啓発に関すること。 7. 救急広報に関すること。 8. 医療機関との連絡調整に関すること。 9. ドクターヘリ、ドクターカーに関すること。 10. 保健及び災害医療に関すること。
係 区分	通 信 指 令 課
通信指令係	1. 災害通報の受付及び出動指令に関すること。 2. 災害情報の収集及び連絡に関すること。 3. 消防通信の運用及び統制に関すること。 4. 消防通信施設等の整備計画及び管理に関すること。 5. 通報訓練及び技術の指導に関すること。 6. 救急医療情報の収集及び伝達に関すること。 7. 消防通信技術の調査研究に関すること。 8. 災害弱者緊急通報システムに関すること。 9. 消防通信の統計及び報告に関すること。 10. 通信業務に係る防火対象物等の支援情報及び資料作成に関すること。 11. 火災・災害等即報に関すること。

区分 係	大 田 消 防 署
消防係	1. 警防活動及び報告に関すること。 2. 消防車両、機械器具等の維持及び管理に関すること。 3. 職員の勤務編成、福利厚生等に関すること。 4. 消防車両等の燃料に関すること。 5. 罹災証明、救急証明その他輕易な証明に関すること。 6. 消防訓練（消防団含む）に関すること。 7. 職場見学及び体験に関すること。 8. 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関すること。
予防係	1. 火災予防の活動、報告に関すること。 2. 自主防災組織の訓練指導に関すること。 3. 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関すること。 4. 火災予防条例に関すること。 5. 警防計画に関すること。 6. 軽微な火災原因及び損害調査に関すること。 7. 気象情報及び火災気象警報に関すること。
救急救助係	1. 救急、救助活動及び報告に関すること。 2. 応急手当の指導に関すること。 3. 救急、救助資器材の管理、報告に関すること。 4. 救急、救助訓練に関すること。
区分 係	三 瓶 出 張 所
	1. 大田消防署の各係に準ずる。

区分 係	西 部 消 防 署
消防係	1. 公印の管守に関すること。 2. 職員の勤務編成、福利厚生等に関すること。 3. 消防車両等の燃料に関すること。 4. 罹災証明、救急証明その他軽易な証明に関すること。 5. 職場見学及び体験に関すること。 6. 消防車両、機械器具等の維持及び管理に関すること。 7. 救急、救助訓練に関すること。 8. 消防訓練（消防団含む）に関すること。
予防係	1. 火災予防の活動、報告に関すること。 2. 自主防災組織の訓練指導に関すること。 3. 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関すること。 4. 火災予防条例に関すること。 5. 火災の原因及び損害調査に関すること。 6. 消防用設備等の設置指導に関すること。 7. 防火管理者の育成、指導に関すること。 8. 防火対象物の査察及び立入検査に関すること。 9. 建築物の確認等の同意及び指導に関すること。
警防係	1. 災害活動及び報告に関すること。 2. 応急手当の指導に関すること。 3. 救急、救助資器材の管理、報告に関すること。 4. 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関すること。 5. 警防計画に関すること。

3. 消防職員配置状況

階級			消 防 司 令 長	消 司 防 令	消 防 司 令 補	消 士 防 長	消 防 副 士 長	消防士	計	
区分										
大田市消防本部	大田市消防本部	消 防 長	1						1	
		消 防 次 長								
	総務課	課 長		1					1	
		課長補佐								
		庶務係長		(1)					(1)	
		經理係長			1				1	
		主 任				2			2	
		予防課	課 長		1					1
	課長補佐			1					1	
	予防係長			(1)					(1)	
	危険物係長			(1)					(1)	
	主 任					2			2	
	警防課		課 長		1					1
		課長補佐								
		救急係長			1				1	
		警防係長			1				1	
		通信指令課	課 長		1					1
			課長補佐		1					1
	係 長				1				1	
	主 任					3			3	
	副 主 任						3		3	
大田市消防署	署副	署 長		1					1	
		署 長		2					2	
	第1小隊	小 隊 長			3				3	
		分 隊 長				4			4	
		副分隊長					3		3	
		隊 員						5	5	
	第2小隊	小 隊 長			3				3	
		分 隊 長				4			4	
		副分隊長					2		2	
		隊 員						6	6	
	救助隊	隊 長			(2)				(2)	
		副 隊 長				(4)			(4)	
隊 員						(4)	(4)	(8)		
三瓶出張所	所副	所 長		1					1	
		所 長			1				1	
	第1分隊	分 隊 長				1			1	
		副分隊長					1		1	
		隊 員						1	1	
	第2分隊	分 隊 長				1			1	
		副分隊長					1		1	
隊 員						1	1			
西部消防署	署副	署 長		1					1	
		署 長		2					2	
	第1小隊	小 隊 長		1	2				3	
		分 隊 長				3			3	
		副分隊長					1		1	
		隊 員						1	1	
	第2小隊	小 隊 長			3				3	
		分 隊 長				3			3	
		副分隊長					1		1	
隊 員						1	1			
防災航空隊派遣職員						1			1	
市総務部危機管理課				1					1	
消防学校派遣職員					1				1	
計			1	15	17	24	12	15	84	

※（ ）は兼務職員、その他は主たる職務により集計

4. 階級別勤務年数調

階 級 年 数	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1 年 未 満	2						2
1 ～ 5 年 未 満	6						6
5 ～ 10 年 未 満	8					1	7
10 ～ 15 年 未 満	23				12	11	
15 ～ 20 年 未 満	17			5	12		
20 ～ 25 年 未 満	6			6			
25 ～ 30 年 未 満	15		9	6			
30 年 以 上	7	1	6				
合 計	84	1	15	17	24	12	15

5. 階級別年齢調

階 級 年 齢	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
18 歳 ～ 20 歳	2						2
21 歳 ～ 25 歳	8						8
26 歳 ～ 30 歳	10					5	5
31 歳 ～ 35 歳	19				12	7	
36 歳 ～ 40 歳	20			8	12		
41 歳 ～ 45 歳	4			4			
46 歳 ～ 50 歳	11		8	3			
51 歳 ～ 55 歳	6		4	2			
56 歳 ～ 60 歳	4	1	3				
合 計	84	1	15	17	24	12	15
平均年齢	37.3才						

6. 常備消防予算及び主要事業

(単位：千円)

項 目		令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	令和3年度 主要事業
常 備 消 防 費		739,264	732,386	
節	報 酬	—	—	・ 消防車両等更新 整備事業
	給 料	302,283	299,498	
	職 員 手 当 等	272,049	270,891	・ 消防通信指令シ ステム更新整備 事業
	共 済 費	106,550	108,207	
	報 償 費	10	10	
	旅 費	2,255	2,349	
	需 用 費	15,398	17,431	
	役 務 費	5,833	6,406	
	委 託 料	16,887	9,267	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	1,907	1,687	
	備 品 購 入 費	10,139	10,090	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	5,576	5,976	
	公 課 費	377	574	

3. 予 防 編

1. 防火対象物現況調

防火対象物の区分			現在数	査察実施 件数	防火管理者 選任数
1	イ	劇場、映画館等	3	4	3
	ロ	公会堂又は集会場	59	56	35
2	イ	キャバレー等			1
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	1	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	個室で客に利用させるカラオケボックス等	1		1
3	イ	待合、料理店等	1		1
	ロ	飲食店	20	7	21
4		百貨店、マーケット等	69	17	29
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	25	9	12
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	122		2
6	イ	病院、診療所又は助産所	29	7	11
	ロ	主として自力避難困難者が入所する社会福祉施設	16	8	15
	ハ	上記ロ以外の社会福祉施設	58	35	25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	1	1
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校等	57	18	19
8		図書館、博物館、美術館等	10	4	5
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	1		1
	ロ	上記イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		
10		停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3		
11		神社、寺院、教会等	44	1	4
12	イ	工場又は作業場	208	15	7
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	1		
13	イ	自動車車庫又は駐車場	14		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	181	6	
15		前各項に該当しない事業場	332	6	26
16	イ	特定用途部分が存する複合用途対象物	137	39	33
	ロ	上記イ以外の複合用途対象物	83	3	
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財等	28	6	3
18		延長50メートル以上のアーケード			
19		市長村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合 計			1,508	243	258

*現在数のみ延べ面積150㎡以上（17項、18項は除く）を計上

2. 数量別・類別製造所等設置数

製造所等の別 数量類別		製造所	貯蔵所							取扱所			計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所	
施設許可 設置数	令和元年度	2	15	46		49		17	12	28	34		203
	令和2年度	2	13	45		39		18	12	29	33		191
数量別	5倍以下		5	2		31		17			14		69
	5倍をこえ 10倍以下		5	5		3			11	5	13		42
	10倍をこえ 50倍以下	1	2	33		2			1	5	5		49
	50倍をこえ 100倍以下			1		2		1		7			11
	100倍をこえ 150倍以下		1	1		1				6			9
	150倍をこえ 200倍以下									1			1
	200倍をこえ 1,000倍以下	1		3						5	1		10
類別	第1類												
	第2類												
	第3類												
	第4類	2	13	45		39		18	12	29	33		191
	第5類												
	第6類												

3. 危険物製造所等の申請取扱件数

製造所等の区分 許可等 区分		製 造 所	貯蔵所							取扱所			計
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
許 可	設 置							1					1
	変 更	1		4		1				6		5	17
完 検 成 査	設 置		1					1		1			3
	変 更	1		4		1				6		5	17
タンク 検査	水 張												
	水 圧												
計		2	1	8		2		2		13		10	38

4. 消防事務手数料徴収状況

危険物規制事務	種 別			件数	金 額 （ 円 ）	
	製 造 所 等	許 可	設 置	1	26,000	
			変 更	17	332,500	
		完成検査	設 置	3	49,000	
			変 更	17	166,250	
	完成検査前検査	タ ン ク 水 圧 検 査				
		タ ン ク 水 張 検 査				
	仮 使 用 及 び 仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱				15	81,000
	合 計				53	654,750

火薬類規制事務	種 別	件数	金 額（円）
	譲 受 許 可		
	譲 渡 許 可	2	2,400
	譲 受 消 費 許 可	10	60,000
	消 費 許 可（煙火）	2	15,800
	合 計	14	78,200

高圧ガス規制事務	種別			件数	金 額 （ 円 ）
	製造施設	許 可	設 置		
			変 更	1	16, 000
	貯 蔵 所		設 置		
			変 更		
	完 成 検 査		設 置	1	40, 500
			変 更	1	12, 000
	保 安 検 査			5	490, 000
	合 計			8	558, 500

5. 諸届（願）処理状況

法令関係届出処理状況

種 別	件 数
防火管理者選任（解任）届出	67
消防計画作成（変更）届出	107
消防訓練通知書	323
工事整備対象設備等着工届出	36
消防用設備等設置届出	53
消防用設備等検査済証交付	26
消防用設備等点検結果報告	551
防火対象物点検結果報告	54
防火対象物点検報告特例認定申請	6
圧縮アセチレンガス等の貯蔵取扱の届出	12
危険物保安監督者選任（解任）届出	14

火災予防条例届出処理状況

種 別	件 数
防火対象物使用開始届出	21
火を使用する設備等の設置届出	27
変電・発電、蓄電設備等設置届出	26
ネオン管灯設備設置届出	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0
火災とまぎらわしい行為の届出	45
煙火打上げ・仕掛け届出	8
催物開催届出	0
水道断・減水届出	0
道路工事届出	693
指定洞道等届出	0
火災予防上必要な業務に関する計画提出	1
露店等の開設届出	11
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届出	17
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い廃止届出	14

広報活動等実施状況

区 分	実施回数	備 考
市広報誌掲載	8	火災予防運動・各種試験案内等
訓 練 指 導	115	旅館・保育園・学校等
音 声 広 報	138	火災予防運動・気象状況に伴う広報等
巡 回 広 報	171	火災予防運動・歳末警戒等
防 火 チ ラ シ	6	火災予防運動・住警器啓発等
防火ポスター	8	火災予防運動・住警器啓発等
防 火 看 板	7	火災予防・住警器啓発等
消防施設見学	13	小学校・幼稚園等

4. 警 防 編

1. 火災

概 要

(平成28年～令和2年中)

年・署所 区分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年			
						計	大田 消防署	西部 消防署	三瓶 出張所
火災 件数	建物	7	9	8	9	10	7	3	
	林野		3	3	4	7	7		
	車両	2	2	2					
	船舶	1							
	その他	8	9	17	9	8	4	2	2
	計	18	23	30	22	25	18	5	2
焼損 面積	建物	床面積(㎡)	630	1,025	548	1,714	1,457	763	694
		表面積(㎡)	21	24	113	126	1		1
		棟数	12	19	14	27	17	10	6
	林野(a)		2	11	95	26	461	461	
罹災世帯		5	6	5	11	11	7	3	1
罹災人員		11	11	8	22	16	9	6	1
死者				1	3	1	1		
負傷者		4		3	1	2		1	1
損害額 (千円)	建物	15,593	17,164	11,281	124,005	94,587	40,699	53,886	2
	林野			552	53				
	車両	628	341	4,235	220	1,174	50	1,124	
	船舶								
	その他	5	23	581	811	322	242		80
	計	16,226	17,528	16,649	125,089	96,083	40,991	55,010	82

出火原因別火災件数・損害額

(令和2年中)

原因別	区分	出火件数	損害額 (千円)		
た	き	火	12	373	
火	入	れ	1	0	
た	ば	こ	0	0	
コ	ン	ロ	2	3,254	
ス	ト	ー	ブ	2	5,084
電	気	機	器	0	0
配	線	器	具	1	2
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー				1	0
放 火 ・ 放 火 疑 い				3	13,258
そ の 他				1	1
不 明				2	74,111
合 計				25	96,083

町別火災件数及び損害額

(令和2年中)

区 分 町		火 災 件 数					焼損面積		損 害 額						
		計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	建物 (㎡)	林 野 (a)	計 (千円)	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
大 田 町		4	3	1				272	2	20,804	20,804				
川 合 町		1					1								
大 屋 町															
久 利 町															
富 山 町		1		1					4						
朝 山 町		1	1					171		11,562	11,562				
波 根 町															
久 手 町		2					2			1					1
鳥 井 町		1	1					154		5,079	5,079				
長 久 町		2		2					10						
静 間 町		1					1								
五十猛町															
大 森 町															
水 上 町		2	1	1					3	18	18				
祖 式 町		3	1	2				166	442	3,527	3,236		50		241
大 代 町															
三 瓶 町	池 田	1					1								
	志 学	1					1			82	2				80
	多 根														
山 口 町															
温 泉 津 町	湯 里														
	温泉津														
	井 田	1					1								
	福 波														
仁 摩 町	仁 万	2	2							7	7				
	宅 野	2	1				1	694		55,003	53,879		1,124		
	大 国														
	馬 路														
合 計		25	10	7			8	1,457	461	96,083	94,587		1,174		322

※建物の焼損面積は床面積を計上している

月別町別火災発生状況

(令和2年中)

月 町名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
大田町		1		1	1						1			4
川合町						1								1
大屋町														
久利町														
富山町					1									1
朝山町									1					1
波根町														
久手町						1			1					2
鳥井町			1											1
長久町									1			1		2
静間町									1					1
五十猛町														
大森町														
水上町									1				1	2
祖式町				1					1				1	3
大代町														
三瓶町	池田						1							1
	志学			1										1
	多根													
山口町														
温泉津町	湯里													
	温泉津													
	井田	1												1
	福波													
仁摩町	仁万			1									1	2
	宅野		1										1	2
	大国													
	馬路													
合 計		2	2	4	2	2	1		6		1	1	4	25

2. 救急

概 要

(令和2年中)

区分 年・月	出場 件数	搬送 人員	事 故 種 別											出 場 件 数 1 日 平 均	搬 送 人 員 1 日 平 均
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
平成28年	1,894	1,844	1		5	97	20	12	299	4	13	1,118	325	5.17	5.04
平成29年	1,894	1,847			1	95	27	10	307	1	17	1,075	361	5.19	5.06
平成30年	1,997	1,934	1	2	5	112	23	17	279	2	15	1,182	359	5.47	5.30
令和元年	1,916	1,868			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393	5.25	5.12
令和2年	1,682	1,628	3		6	67	10	3	265	3	15	949	361	4.61	4.46
1月	168	158			3	8	2		24		5	77	49		
2月	159	157			1	5			20	1	2	102	28		
3月	149	141	1			4	1		26		2	77	38		
4月	132	128				2		1	29			70	30		
5月	110	107				4	1		12		1	67	25		
6月	122	121	1			3	1		20			73	24		
7月	135	129				6	1	1	20	1	1	74	31		
8月	134	132				8		1	22			86	17		
9月	120	117				6	4		19	1		63	27		
10月	135	130				6			24		1	77	27		
11月	146	142				8			25		1	79	33		
12月	172	166	1		2	7			24		2	104	32		

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

署所別救急出場件数及び搬送人員

(令和2年中)

事故種別 署所		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
大 田 消 防 署	件 数	1,248	2		4	47	7	3	174	3	9	646	353
	人 員	1,212	2		2	50	7	3	170	3	6	619	350
西 部 消 防 署	件 数	340	1		2	16	1		74		6	234	6
	人 員	325	1			15	1		71		5	226	6
三 瓶 出 張 所	件 数	94				4	2		17			69	2
	人 員	91				4	2		17			67	1
合 計	件 数	1,682	3		6	67	10	3	265	3	15	949	361
	人 員	1,628	3		2	69	10	3	258	3	11	912	357
比 率 %	出 場 件 数	100.0%	0.18%		0.36%	3.98%	0.59%	0.18%	15.76%	0.18%	0.89%	56.42%	21.46%

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

月別出場件数及び搬送人員

(令和2年中)

事故種別 月		合 計	火 災	自 害然 災	水 難	交 故通 事	労 害働 災	運 技動 競	一 傷般 負	加 害	自 為損 行	急 病	そ の 他
1月	件 数	168			3	8	2		24		5	77	49
	人 員	158				7	2		24		4	74	47
2月	件 数	159			1	5			20	1	2	102	28
	人 員	157				5			20	1	2	101	28
3月	件 数	149	1			4	1		26		2	77	38
	人 員	141	1			4	1		25		1	73	36
4月	件 数	132				2		1	29			70	30
	人 員	128				3		1	29			65	30
5月	件 数	110				4	1		12		1	67	25
	人 員	107				4	1		12			65	25
6月	件 数	122	1			3	1		20			73	24
	人 員	121	1			4	1		20			71	24
7月	件 数	135				6	1	1	20	1	1	74	31
	人 員	129				7	1	1	19	1	1	68	31
8月	件 数	134				8		1	22			86	17
	人 員	132				9		1	22			83	17
9月	件 数	120				6	4		19	1		63	27
	人 員	117				5	4		19	1		61	27
10月	件 数	135				6			24		1	77	27
	人 員	130				7			22			74	27
11月	件 数	146				8			25		1	79	33
	人 員	142				8			25		1	75	33
12月	件 数	172	1		2	7			24		2	104	32
	人 員	166	1		2	6			21		2	102	32
計	件 数	1,682	3		6	67	10	3	265	3	15	949	361
	人 員	1,628	3		2	69	10	3	258	3	11	912	357

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

町別救急出場件数

(令和2年中)

事故種別 町		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
大田町		501			1	7		2	39	1	5	181	265
川合町		88				1			12			45	30
大屋町		10							1			9	
久利町		43							5		1	37	
富山町		14							5			9	
朝山町		13					1		1			11	
波根町		81			2	1	1		8			33	36
久手町		139				7			30	1	1	91	9
鳥井町		72			1	2	1	1	13			54	
長久町		133				12	2		22	1		81	15
静間町		50				5	1		11			33	
五十猛町		44			1	3			11			29	
大森町		12				2			4			6	
水上町		15				1			4			10	
祖式町		26	1			2	1		7			15	
大代町		15				1						14	
三瓶町	池田	44	1			2	1		5			35	
	志学	39				2	1		12			24	
	多根	3									2	1	
山口町		11							1			10	
温泉津町	湯里	36				5			6			25	
	温泉津	70							18			52	
	井田	29				2			5			21	1
	福波	42				1			10		3	28	
仁摩町	仁万	87				4			16		3	59	5
	宅野	15	1						5			9	
	大国	19				7			5			7	
	馬路	31			1		1		9			20	
管轄外													
合 計		1,682	3		6	67	10	3	265	3	15	949	361

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

年齢・傷病程度別搬送人員

(令和2年中)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
新生児	死 亡												
	重 症												
	中 等 症	1											1
	軽 症	2							2				
	そ の 他												
乳幼児	死 亡												
	重 症												
	中 等 症	15										11	4
	軽 症	12							4			6	2
	そ の 他												
少年	死 亡												
	重 症	1									1		
	中 等 症	7							1		2	3	1
	軽 症	27				3		3	5			15	1
	そ の 他												
成人	死 亡	2									1	1	
	重 症	47			1	2	2		1			19	22
	中 等 症	138	1			14	3		12	1	1	61	45
	軽 症	111			1	18	3		11	1	4	68	5
	そ の 他												
高齢者	死 亡	25							6		2	17	
	重 症	186				3			21	1		86	75
	中 等 症	807	1			12	2		142			465	185
	軽 症	247	1			17			53			160	16
	そ の 他												
計	死 亡	27							6		3	18	
	重 症	234			1	5	2		22	1	1	105	97
	中 等 症	968	2			26	5		155	1	3	540	236
	軽 症	399	1		1	38	3	3	75	1	4	249	24
	そ の 他												
合 計		1,628	3		2	69	10	3	258	3	11	912	357

(区 分：その他・・・転院・医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

(程度別：その他・・・医師の診断がないもの及び医療機関以外の場所へ搬送したもの)

ドクターヘリ地区別搬送人員

(令和2年中)

事故種別 町		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
大田町		34										5	29
川合町		1										1	
大屋町		2										2	
久利町		1									1		
富山町													
朝山町		1										1	
波根町		4			1		1						2
久手町		2				1							1
鳥井町		3										3	
長久町		2				1						1	
静間町		3										3	
五十猛町		1				1							
大森町		2				2							
水上町		1							1				
祖式町		1										1	
大代町		1				1							
三瓶町	池田	2										2	
	志学	6				1			1			4	
	多根												
山口町													
温泉津町	湯里	1										1	
	温泉津	2							1			1	
	井田	5				2			1			2	
	福波	3										3	
仁摩町	仁万	4				1			1			1	1
	宅野	1										1	
	大国	3				2						1	
	馬路	1										1	
管轄外													
合 計		87			1	12	1		5		1	34	33
要請件数		119			1	14	3		6		1	60	34

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

※平成23年6月13日より、ドクターヘリ運航開始

3. 救助

概 要

(令和2年中)

区 分	活 動 状 況					出 動 車 両							
	出 動 件 数	出 動 人 員	活 動 件 数	活 動 人 員	救 助 人 員	救 助 工 作 車	消 防 ボ ン プ 自 動 車	化 学 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	救 急 自 動 車	そ の 他 の 車 両	消 防 団 車 両	合 計
火 災													0
交 通 事 故	24	217	8	60	9	23	5		9	28			65
水 難 事 故	4	33	3	17	3	2	2		2	4			10
風 水 然 害 等 災 害													0
機 械 に 関 する 事 故													0
建 物 等 に 関 する 事 故													0
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故													0
破 裂 事 故													0
そ の 他 の 事 故	4	40	4	34	4	3	1		2	5	1		12
合 計	32	290	15	111	16	28	8	0	13	37	1	0	87

防災ヘリコプター要請件数

(平成6年4月～令和2年12月31日)

事 故 種 別	火 災	救 助	捜 索	現場救急搬送	転院搬送	その他	合計
平成6年～27年	2	17	3	4	3		29
平 成 2 8 年		2			4		6
平 成 2 9 年	1	1	1		3		6
平 成 3 0 年	2		1		2	1	6
令 和 元 年	1	4					5
令 和 2 年		2				1	3
合 計	6	26	5	4	12	2	55

※島根県防災航空隊発隊:平成6年4月1日

4. 消防

消防車両現有数

区 分	車 名	車 種	型 式	排気量	ポンプ級別	初年度登録
大田消防署	大田救急 1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H21. 12
	大田救急 2 (日産)	高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H27. 11
	大田救急 3 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H30. 9
	大田化学 1 (イスゞ)	化学消防車	KK-FSR33G4V	8,220cc	A-2	H12. 11
	大田タンク 1 (日野)	水槽付ポンプ車	2KG-GX2ABA	5,120cc	A-2	R2. 2
	大田ポンプ 1 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H21. 10
	大田ポンプ 2 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H19. 10
	大田林野 1 (トヨタ)	林野火災工作車	LDF-KDY281	2,980cc		H30. 10
	大田救助 1 (イスゞ)	救助工作車	KK-FSR34G4	7,790cc		H15. 1
	大田指揮 1 (トヨタ)	消防指揮車	GF-MCU15W	2,990cc		H12. 8
	大田広報 1 (日産)	広報車	CBE-VAY12	1,240cc		H25. 3
	大田広報 2 (トヨタ)	広報車	GE-RZH112V	1,990cc		H12. 10
	大田支援 1 (トヨタ)	指揮支援車	CBF-TRH226S	2,690cc		H24. 10
	大田軽 1 (スゞキ)	—	GBD-HA24V	650cc		H20. 8
	大田軽 2 (三菱)	—	GBD-U62V	650cc		H22. 2
西部消防署	西部救急 1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H23. 9
	西部救急 2 (日産)	高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H24. 12
	西部ポンプ 1 (日野)	消防ポンプ車	PD-XZU378M	4,000cc	A-2	H17. 1
	西部指揮 1 (日産)	消防指揮車	EBD-DR64V	650cc		H26. 8
三瓶出張所	三瓶救急 1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H25. 10
	三瓶ポンプ 1 (日野)	消防ポンプ車	SKG-XZU685M	4,000cc	A-2	H23. 11

無線通信施設

【基地局】

		空中線電力	計
デジタル	高山中継局	20W	4局
	三瓶中継局	20W	
	邑南中継局	20W	
	江津中継局	10W/20W	

【陸上移動局】

		大田消防署	大田消防署 三瓶出張所	西部消防署	小 計	合 計
デジタル	半固定型 (5W)		1	1	2局	46局
	車 載 型 (5W)	13	2	3	18局	
	携 帯 型 (1W)	16	3	4	23局	
	可 搬 型 (5W)	1			1局	
アナログ	携 帯 型 (5W)	1			1局	
	可 搬 型 (10W)	1			1局	

消防水利地区別状況

区分 町	消 火 栓		防 火 水 槽								指定 水利	その他
	公設	私設	100 t 以上		60 t 以上100t未満		40 t 以上60 t 未満		20 t 以上40 t 未満			
大田町	76	2	公	1	公	1	公	24	公	8	1	2
長久町	28	3	公		公	1	公	9	公	7		1
			私		私		私	2	私	4		
静間町	12		公		公		公	7	公	8		1
			私		私		私	1	私	2		
鳥井町	14		公	1	公		公	5	公	1		1
			私		私		私	2	私	2		
久手町	51		公		公	5	公	16	公	10		2
			私		私		私	4	私			
波根町	12	1	公		公		公	7	公	4		1
			私		私	1	私		私	1		
川合町	18	4	公		公		公	11	公	3		1
			私		私		私	3	私	2		
久利町	11		公		公		公	8	公			1
			私		私		私		私			
朝山町	2		公		公		公	3	公	5		
			私		私		私	3	私			
富山町			公		公		公	2	公	3		1
			私		私		私		私			
山口町			公		公		公	4	公	2		
			私		私		私		私			
三瓶町	13	4	公		公	1	公	20	公	8		3
			私		私		私	4	私	1		
五十猛町	12		公		公		公	6	公	5		
			私		私		私		私	1		
大屋町			公		公		公	1	公	1		
			私		私		私		私			
大森町	39		公		公		公	2	公	1		
			私		私		私		私			
水上町			公		公		公	2	公	2		2
			私		私		私	1	私	1		
祖式町			公		公		公	2	公	2		1
			私		私		私		私			
大代町	2		公	3	公	1	公	2	公	2		1
			私		私		私		私			
温泉津町	86		公		公	2	公	29	公	3		6
			私		私		私		私			
仁摩町	156	1	公		公		公	42	公	3		14
			私		私		私	1	私			
合 計	532	15	5 (内私設0)		12 (内私設1)		226 (内私設24)		95 (内私設17)		1	38

公設消火栓532基の内150mm未満 283基

私設 〃 15基の内 〃 〃 12基

指定水利は三瓶川 その他の水利内訳は河川・港・プール

5. 消防団編

1. 大田市消防団の沿革

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
				旧大田市消防団の沿革
1954	昭和29	1	1	安濃郡大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村及び邇摩郡久利村、静間村の2町6ヵ村による第1次合併する。
		4	1	安濃郡佐比売村、朝山村、富山村、簸川郡山口村の4ヵ村による第2次合併する。
		4	3	大田市大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村、佐比売村、朝山村、富山村、邇摩郡久利村、静間村、簸川郡山口村12ヵ町村により大田市消防団が発足する。 編 成 12分団 団員数 1, 457人 装 備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 22台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 51台
1955	昭和30	2	11	日本消防協会から表彰旗を受賞した。
		5	3	第1回島根県消防操法競技大会にて手引消防ポンプ操法の部3位入賞した。
		7	8	島根県消防協会から表彰旗の副賞として鳶を授与された。
		10	1	消防装備の拡充強化に伴う、第2次機構改革する。 編 成 12分団 団員数 727人 装 備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 3台
1956	昭和31	4	8	第2回島根県消防操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。
		4	28	第2回中国5県消防ポンプ操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。
		9	30	邇摩郡五十猛村、大屋村、大森町、邑智郡祖式村の1町3村を編成し第3次合併する。 編 成 16分団 団員数 952人
1957	昭和32	8	20	島根県消防協会から第1線竿頭綬を授与された。
1958	昭和33	12	30	邑智郡川本町大代地区を編入合併する。 編 成 17分団 団員数 1, 032人
1959	昭和34	4	8	第5回島根県消防操法大会にて手引動力ポンプの部優勝、自動車ポンプの部3位入賞した。
1962	昭和37	1	5	島根県消防協会から第3線竿頭綬を授与された。
		7		第8回島根県消防操法大会（川本町）に大代分団が出場する。
1963	昭和38	5	7	第9回島根県消防操法大会にて可搬動力ポンプの部3位入賞した。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1964	昭和39	10	1	常備消防の拡充強化に伴う第3次機構改革する。 編 成 17分団 団員数 643人 装 備 輸送車 6台 可搬式動力ポンプ 67台 手引動力ポンプ 4台
		11	27	分団管轄区域を見直し、水上、多根、志学分団を編成し20分団とする。
1965	昭和40	12	28	小型動力ポンプ輸送車2台購入、波根、久手分団に配置する。
1966	昭和41	1	6	島根県消防協会から第4線竿頭綬を授与された。
		6	13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、富山分団に配置する。
1967	昭和42	3	3	消防庁長官から消防機関に竿頭綬を授与された。
		7	13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、久手分団に配置する。
1968	昭和43	7		第14回島根県消防操法大会（江津市）に山口分団が出場する。
1969	昭和44	1	6	島根県消防協会より第5線竿頭綬を授与された。
		12	1	小型動力ポンプ輸送車2台購入、山口、祖式分団に配置する。
1970	昭和45	11	6	小型動力ポンプ輸送車2台購入、久利、大屋分団に配置する。
1971	昭和46	10	29	小型動力ポンプ輸送車4台購入、多根、朝山、大森、水上分団に配置する。
		12	4	昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により島根県知事から表彰状を授与された。
1972	昭和47	9	5	小型動力ポンプ積載車5台購入、池田、久手、鳥井、長久、静間分団に配置する。
		9	8	昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により内閣総理大臣から表彰状を授与された。
1973	昭和48	1	6	島根県消防協会より第6線竿頭綬を授与された。
		4	20	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。
		7	18	小型動力ポンプ輸送車1台購入、五十猛分団に配置する。
1974	昭和49	7		第20回島根県消防操法大会（斐川町）に山口分団が出場する。
		8	9	小型動力ポンプ輸送車2台購入、川合、大代分団に配置する。
1975	昭和50	7	17	小型動力ポンプ輸送車2台購入、志学分団に配置、久手分団更新する。
		7		第21回島根県消防操法大会（金城町）に山口分団が出場する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1975	昭和50	7	22	小型動力ポンプ輸送車2台購入、久利、大屋分団に配置する。
1976	昭和51	2	1	昭和50年7月の豪雨災害の功績により建設大臣から表彰状を授与された。
		7		第22回島根県消防操法大会（広瀬町）に多根分団が出場する。
1977	昭和52	7		第23回島根県消防操法大会（津和野町）に多根分団が出場する。
1978	昭和53	7		第24回島根県消防操法大会（横田町）に長久分団が出場する。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車1台更新、久手分団に配置する。
1979	昭和54	7		第25回島根県消防操法大会（邑智町）に多根分団が出場し6位となる。
1980	昭和55	4	1	大田市消防団ラッパ隊発足する。隊長以下12名。
		7		第26回島根県消防操法大会（玉湯町）に朝山分団が出場し8位となる。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大代分団に配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官から消防機関に消防旗を授与された。
		6	18	小型動力ポンプ輸送車1台更新、富山分団に配置する。
		7		第27回島根県消防操法大会（浜田市）に長久分団が出場する。
1982	昭和57	1	5	島根県消防協会より第7線竿頭綬を授与された。
		2	10	日本消防協会より竿頭綬を授与された。
		7	30	小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口、祖式分団に配置する。
		7		島根県消防大会（佐田町）に大代分団が出場する。
		11	1	消防団活動の拠点施設として消防センターを竣工する。
1983	昭和58	7	16	小型動力ポンプ輸送車2台更新、川合、大代分団に配置する。
1984	昭和59	6	8	小型動力ポンプ輸送車1台更新、志学分団に配置する。
		7		第28回島根県消防操法大会（安来市）に大代分団が出場する。
1985	昭和60	7		第29回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場する。
		8	21	小型動力ポンプ輸送車2台更新、大森、池田分団に配置する。
		9	2	小型動力ポンプ4台更新、朝山、大屋、祖式、大代分団に配置する。
1986	昭和61	7	8	小型動力ポンプ輸送車2台更新、長久、水上分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主 来 事
1986	昭和61	7	27	第30回島根県消防操法訓練大会（出雲市）において長久分団が出場し小型ポンプの部5位入賞する。
1987	昭和62	1	24	小型動力ポンプ1台更新、波根分団に配置する。
		4	1	緊急伝達システムを導入し、防災無線の整備を図る。
		6	29	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田、池田、静間分団に配置する。
		7	15	小型動力ポンプ輸送車1台更新、鳥井分団に配置する。
		7	26	第31回島根県消防操法訓練大会（桜江町）において久手分団が出場し、優勝する。
1988	昭和63	7		第32回島根県消防操法訓練大会（美保関町）において久手分団が出場し、小型ポンプの部8位となる。
		9	17	小型動力ポンプ1台更新、大代分団に配置する。
1989	平成元	8	27	第33回島根県消防操法訓練大会（日原町）において小型ポンプの部大代分団2位入賞する。
		10	20	小型動力ポンプ輸送車2台更新、久利、大屋分団に配置する。
1990	平成2	6	27	小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口、久手分団に配置する。
		7		第34回島根県消防操法大会（東出雲町）に久利分団が出場し20位となる。
1991	平成3	3	30	小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山、大代分団に配置する。
		8	25	第35回島根県消防操法大会（大田市）に久手分団が出場し、小型ポンプの部2位入賞する。
1992	平成4	1	5	島根県消防協会から第8線竿頭綬を授与された。
		7		第36回島根県消防操法大会（宍道町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部23位となる。
		8	8	島根県知事から消防機関に表彰旗を授与された。
		8	19	小型動力ポンプ輸送車1台更新、久手分団に配置する。
1993	平成5	6	29	小型動力ポンプ輸送車1台更新、波根分団に配置する。
		7		第37回島根県消防操法大会（三隅町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部7位となる。
		7	20	小型動力ポンプ1台更新、朝山分団に配置する。
1994	平成6	7	20	小型動力ポンプ1台更新、富山分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1994	平成6	7		第38回島根県消防操法大会（仁多町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部5位入賞する。
		8	22	日本消防協会より普通自動車（1800cc）の寄贈を受けた。
1995	平成7	7	14	小型動力ポンプ輸送車1台更新、多根分団に配置する。
		7		第39回島根県消防操法大会（仁摩町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部13位となる。
1996	平成8	7		第40回島根県消防操法大会（西郷町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部26位となる。
		12	12	小型動力ポンプ2台更新、静間、五十猛分団に配置する。
1997	平成9	2	14	日本消防協会から竿頭綬を授与された。
		7		第41回島根県消防操法大会（六日市町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部20位となる。
		12	19	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山、志学分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、鳥井、多根、祖式分団に配置する。
1998	平成10	7		第42回島根県消防操法大会（三刀屋町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部16位となる。
1999	平成11	1	7	小型動力ポンプ輸送車1台購入、志学分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口、朝山分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、大田、池田、山口分団に配置する。
		7		第43回島根県消防操法大会（川本町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
		11	25	小型動力ポンプ1台更新、鳥井分団に配置する。
		12	13	小型動力ポンプ3台更新、富山、志学、大代分団に配置する。
2000	平成12	1	6	小型動力ポンプ輸送車2台更新、祖式、大代分団に配置する。
		4	1	大田市消防団機構改革検討委員会を設置する。
		7		第44回島根県消防操法大会（平田市）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
		8	10	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田、川合、五十猛分団に配置する。小型動力ポンプ4台更新、川合、長久、久利、五十猛分団に配置する。
2001	平成13	8	4	第45回島根県消防操法大会において（柿木村）小型ポンプの部、大代分団4位入賞する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2001	平成13	8	10	小型動力ポンプ輸送車3台更新。長久、大森、水上分団に配置する。小型動力ポンプ3台更新。大田、久手、静間分団に配置する。
2002	平成14	8	4	第46回島根県消防操法大会（簸川町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		9	24	小型動力ポンプ3台更新。大屋、川合、静間分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新。大代、池田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車4台増車。多根、波根、川合、静間分団に配置する。
2003	平成15	8	4	第47回島根県消防操法大会（旭町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		10	1	大田市消防団平成第1次機構改革により、消防団員数を643人から557人とする。又、班数を69班から60班とする。
		10	10	静間分団に消防格納庫新築する。
		10	30	大屋分団に消防格納庫新築する。
		11	4	大田市消防団平成第1次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車（普1、軽4）及び軽1台更新。大田（普）、鳥井、池田、五十猛、水上分団に増車配置及び久手分団に更新配置する。 小型動力ポンプ3台更新。多根、静間、大代分団に配置する。
2004	平成16	8	29	第48回島根県消防操法大会（八雲村）に長久分団が出場し16位となる。
		11	4	小型動力ポンプ3台更新。久手、池田、富山分団に配置する。 大田市消防団平成第2次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車。普通車を大屋、静間分団に、軽自動車を川合、五十猛、祖式分団に各配置す ズ
		11	10	五十猛分団、静間分団及び長久分団に消防格納庫新築する。
2005	平成17	8	7	第49回島根県消防操法大会（邑南町）に大代分団が出場し4位となる。
		10	1	大田市・温泉津町・仁摩町1市2町の合併により新大田市となり、消防団員数を844名とする新大田市消防団が発足する。
				旧温泉津町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	井田村、福波村、温泉津町、湯里村の4町村が合併し、消防団員数336名とする温泉津町消防団が発足する。
1958	昭和33	4	1	腕用ポンプ、手引動力ポンプ、小型動力ポンプへの切り替え等により消防団員数263名となる。
1962	昭和37	4	1	消防団員数227名となる。
1982	昭和57	4	1	消防団員数184名となり、消防自動車3台、小型動力ポンプ積載車14台、小型動力ポンプ14台を配備する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2005	平成17	10	1	1 市 2 町合併により新大田市消防団として現在に至る。 旧仁摩町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	仁万村、宅野村、大国、馬路村消防団の 4 消防団が合併し、仁摩町消防団が発足する。
2005	平成17	10	1	1 市 2 町合併により新大田市消防団として現在に至る。 大田市消防団の沿革（合併後）
2005	平成17	10	1	大田市・温泉津町・仁摩町 1 市 2 町の合併により新大田市となり、消防団員数を 8 4 4 名とする新大田市消防団が発足する。
		11	1	志学分団、久手分団、水上分団に消防格納庫新築する。
		11	25	輸送車 2 台更新。軽自動車をもとに、小型動力ポンプを長久分団に更新配置する。 大田市消防団平成第 2 次機構改革に伴う輸送車 4 台増車。 普通車を朝山分団に、軽自動車を久手、大代、長久分団に各配置する。
2006	平成18	3	1	大田消防署より山口分団へ 4 WD 車を配置し、山口分団の輸送車を五十猛分団へ配置する。
		8	6	第 5 0 回島根県消防操法大会（加茂町）に大田地区代表久手分団、温泉津地区代表湯里分団が出場し、久手分団が 5 位となる。
		11	2	久手分団に消防格納庫新築する。
		11	8	長久分団に消防格納庫新築する。
		12	18	輸送車 4 台購入（内軽 3 台更新、内軽 1 台増車）更新軽 3 台を大屋、静間、山口分団へ配置する。増車分（軽 1 台）を富山分団へ配置する。
2007	平成19	3	15	長久分団に消防格納庫新築する。
		3	16	普通輸送車 1 台購入（増車）長久分団へ配置する。
		8	5	第 5 1 回島根県消防操法大会（益田市）に大田地区代表井田・長久分団が出場し、長久分団 8 位、井田分団 1 0 位となる。
		8	31	普通輸送車 1 台購入（増車）五十猛分団へ配置する。
		10	24	久利分団に消防格納庫を新築する。
		11	6	山口分団に消防格納庫を新築する。
		12	20	軽輸送車 4 台購入（更新）久手・大代・富山分団（増車）久利分団へ配置する。小型動力ポンプ 2 台購入（更新）久手・五十猛分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2008	平成20	8	3	第52回島根県消防操法大会（出雲市）に大田地区代表久手・温泉津分団が出場し、久手分団6位、温泉津分団16位となる。
		8	21	普通輸送車1台購入（更新）湯里分団へ、軽輸送車1台購入（更新）大国分団へ配置する。 小型動力ポンプ4台購入（更新）大田・長久・水上・大代分団へ配置する。
2009	平成21	8	9	第53回島根県消防操法大会（大田市）に大田地区代表久手・大代分団が出場し、久手分団4位、大代分団13位となる。
		11	26	軽輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）川合・志学・久利分団へ配置する。
2010	平成22	2	10	日本消防協会より表彰旗を授与された。
		2	16	総務省消防庁より消防団救助資機材1セットを無償貸与される。
		3	31	大国分団に消防格納庫を新築する。
		4	7	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両（小型動力ポンプ積載）を無償貸与される。
		8	1	第54回島根県消防操法大会（安来市）に大田地区代表宅野・湯里分団が出場し、宅野分団18位、湯里分団20位となる。
		11	4	軽輸送車2台購入（更新）宅野・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）波根分団へ配置する。
2011	平成23	8	7	第55回島根県消防操法大会（浜田市）に大田地区代表波根・大国分団が出場し、波根分団13位、大国分団20位となる。
		10	13	軽輸送車2台購入（更新）井田・宅野分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）五十猛分団、朝山分団、大屋分団へ配置する。
2012	平成24	2	29	普通輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。
		3	30	仁万分団に消防格納庫を新築する。
		8	5	第56回島根県消防操法大会（奥出雲町）に大田地区代表馬路・井田分団が出場し、馬路分団17位、井田分団18位となる。
		11	20	軽輸送車6台購入（更新）久手・山口・福波・馬路・湯里分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）祖式・波根・湯里分団へ配置する。
		12	11	島根県消防協会第2回臨時理事会において島根県消防操法大会出場枠の見直しがなされ大田地区の出場枠が2から1となる。
2013	平成25	2	20	池田分団に消防格納庫を新築する。
		8	4	第57回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場し、10位となる。

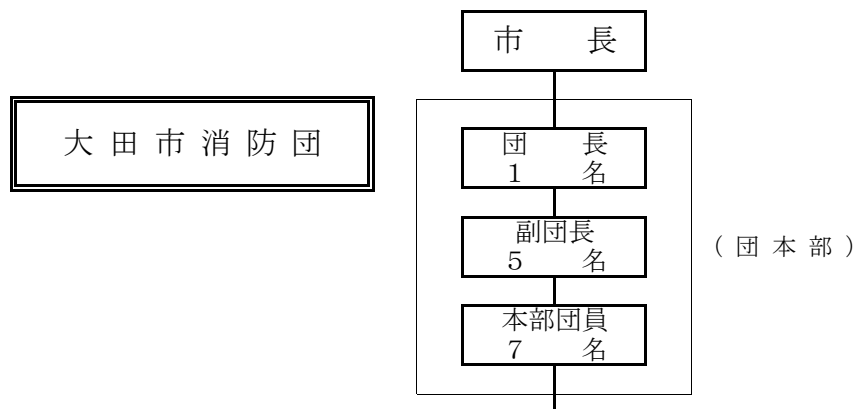
西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2013	平成25	10	22	普通輸送車 2 台購入（更新）波根・温泉津分団へ配置する。 軽輸送車 5 台購入（更新）大国（2 台）・井田・湯里・仁万分団へ配置する。 小型動力ポンプ 2 台購入（更新）水上・温泉津分団へ配置する。
2014	平成26	8	3	第 5 8 回島根県消防操法大会（松江市）に、平成 2 5 年 5 月に開催した第 5 5 回大田市消防操法大会において 2 位の山口分団が出場し、1 7 位となる。
2015	平成27	3	24	温泉津分団に消防格納庫を新築する。
		8	9	第 5 9 回島根県消防操法大会（益田市）に、平成 2 6 年 5 月に開催した第 5 6 回大田市消防操法大会において優勝した宅野分団が出場し、5 位となる。
		10	1	充足率100%達成
		10	27	普通輸送車 1 台購入（更新）、小型動力ポンプ 1 台購入（更新）温泉津分団へ配置する。
2016	平成28	3	6	総務省消防庁より消防団等地域活動表彰を受章する。
		7	31	第 6 0 回島根県消防操法大会（出雲市）に、平成 2 7 年 5 月に開催した第 5 7 回大田市消防操法大会において優勝した井田分団が出場し、準優勝となる。
		10	14	小型動力ポンプ 1 台購入（更新）大森分団へ配置する。
		12	20	消防団員の確保にかかる貢献が認められ、総務大臣感謝状を受章する。
2017	平成29	1	29	大田市消防団教育講演会を実施する。
		3	24	波根分団に消防格納庫を新築する。
		7	30	第 6 1 回島根県消防操法大会（大田市）に、平成 2 8 年 5 月に開催した第 5 8 回大田市消防操法大会において優勝した久手分団が出場し、1 6 位となる。
2018	平成30	1	23	川合分団に消防格納庫を新築する。
		4	9	午前 1 時 3 2 分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M 6 . 1、最大震度 5 強）。
		7	24	鳥井分団に消防格納庫を新築する。
		7	29	第 5 9 回大田市消防操法大会において優勝した山口分団が出場予定であった第 6 2 回島根県消防操法大会（雲南市）は台風の影響により中止となる。
		11	5	軽輸送車 1 台購入（更新）湯里分団へ配置する。 小型動力ポンプ 1 台購入（更新）大代分団へ配置する。
2019	令和元	7	27	第 6 3 回島根県消防操法大会（浜田市）に、平成 3 0 年 5 月に開催した第 6 0 回大田市消防操法大会において優勝した朝山分団が出場し、1 7 位となる。
2019	令和元	10	8	軽輸送車 2 台購入（更新）富山・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ 1 台購入（更新）湯里分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2020	令和 2	3	16	総務省消防庁より救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車の無償貸与を受け、温泉津分団に配置する。
		4	12	第 6 1 回大田市消防操法大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		7	29	第 6 0 回大田市消防操法大会において優勝した波根分団が出場予定であった第 6 3 回島根県消防操法大会（安来市）は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		12	18	消防輸送車 2 台更新、多根、仁万分団に配置する。小型動力ポンプ 2 台更新、福波、仁万分団に配置する。
2021	令和 3	1	10	令和3年大田市消防出初式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。

2. 歴代消防団長

歴 代	氏 名	就任年月日	退職年月日
初 代	岩 屋 初 太 郎	昭和29年 4月 1日	昭和30年 9月30日
二 代	福 田 芳 晴	昭和30年10月 1日	昭和41年 4月20日
三 代	福 田 與 三 郎	昭和41年 4月21日	昭和52年 12月4日
四 代	森 脇 光 之 助	昭和52年12月 5日	昭和58年12月4日
五 代	三 谷 要	昭和58年12月 5日	平成3年 9月30日
六 代	築 森 砂 雄	平成3年10月 1日	平成11年 9月30日
七 代	波 多 野 正 信	平成11年10月 1日	平成17年 9月30日
合併初代	波 多 野 正 信	平成17年10月 1日	平成18年 3月31日
二 代	片 岳 俊 治	平成18年 4月 1日	平成20年 3月31日
三 代	中 田 正 敏	平成20年 4月 1日	令和2年 3月31日
四 代	福 間 達 雄	令和2年 4月 1日	現 在

3. 組織及び報酬等



平成28年4月1日改正

大 田 地 区																温泉津地区				仁摩地区							
第1ブロック				第2ブロック				第3ブロック				第4ブロック				第5ブロック				第6ブロック				第7ブロック			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
大	大	久	川	久	波	朝	富	長	鳥	静	五	大	祖	大	水	志	池	山	多	温	湯	井	福	仁	宅	大	馬
田	屋	利	合	手	根	山	山	久	井	間	十	森	式	代	上	学	田	口	根	泉	里	田	波	万	野	国	路
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団
30	18	17	32	43	24	20	27	31	19	29	34	21	22	41	24	20	20	21	19	46	35	52	29	54	30	39	34
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
97名				114名				113名				108名				80名				162名				157名			
消 防 団 階 級 別								団 長		副団長		本部団員		分団長		副分団長		部 長		班 長		団 員		合 計			
人 員 数								1名		5名		7名		28名		28名		28名		81名		666名		844名			

年 報 酬 額

令和元年12月14日改正

団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
67,000円	55,000円	42,000円	31,000円	27,000円	22,000円	19,000円

諸 手 当

令和元年12月14日改正

種 別	単 位	金 額	支 給 対 象
整 備 手 当	年 額	4,000円	定例の機械点検を委嘱した者
普 通 自 動 車 運 転 手 当	年 額	8,000円	自動車運転手に委嘱した者
軽 自 動 車 運 転 手 当	年 額	5,000円	自動車運転手に委嘱した者
会 議 手 当	1 日	3,000円	団役員会、分団役員会に出席した者
出 場 手 当	1 回	3,500円	水火災現場に出場した者
警 戒 手 当	1 回	3,000円	警戒勤務に服した者
訓 練 手 当	1 回	3,000円	定例の訓練又は特別訓練に勤務した者
出 初 式 出 場 手 当	1 回	3,000円	出初式に出場した者

4. 編成装備

区 分	編 成 人 員										装備関係	
	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計	条例定数	増 減	小型動力 ポンプ	輸送車
団 本 部	1	5					17	23	13	10		
大 田 分 団			1	1	1	3	24	30	30	0	3	3
川 合 分 団			1	1	1	3	27	33	32	1	3	3
大 屋 分 団			1	1	1	2	13	18	18	0	2	2
久 利 分 団			1	1	1	2	12	17	17	0	2	2
富 山 分 団			1	1	1	3	20	26	27	-1	3	3
朝 山 分 団			1	1	1	2	15	20	20	0	2	2
波 根 分 団			1	1	1	2	19	24	24	0	2	2
久 手 分 団			1	1	1	4	36	43	43	0	4	4
鳥 井 分 団			1	1	1	2	14	19	19	0	2	2
長 久 分 団			1	1	1	3	26	32	31	1	3	3
静 間 分 団			1	1	1	3	25	31	29	2	3	3
五十猛分団			1	1	1	4	31	38	34	4	4	4
大 森 分 団			1	1	1	2	15	20	21	-1	2	1
水 上 分 団			1	1	1	2	16	21	24	-3	2	2
祖 式 分 団			1	1	1	2	15	20	22	-2	2	2
大 代 分 団			1	1	1	4	32	39	41	-2	4	4
池 田 分 団			1	1	1	2	16	21	20	1	2	2
志 学 分 団			1	1	1	2	13	18	20	-2	2	2
多 根 分 団			1	1	1	2	10	15	19	-4	2	2
山 口 分 団			1	1	1	2	15	20	21	-1	2	2
湯 里 分 団			1	1	1	4	31	38	35	3	4	4
温泉津分団			1	1	1	4	39	46	46	0	4	4
井 田 分 団			1	1	1	5	38	46	52	-6	5	5
福 波 分 団			1	1	1	4	21	28	29	-1	4	4
仁 万 分 団			1	1	1	4	45	52	54	-2	4	4
宅 野 分 団			1	1	1	3	27	33	30	3	2	2
大 国 分 団			1	1	1	3	30	36	39	-3	3	3
馬 路 分 団			1	1	1	3	31	37	34	3	3	3
計	1	5	28	28	28	81	673	844	844	0	80	79

おうち時間 家族で点検 火の始末

2021年度全国統一防火標語

消 防 年 報

—令和2年版—

発行 大田市消防本部
(〒694-0064)
島根県大田市大田町大田イ1番地1
電話(0854)82-0650(代表)

編集 大田市消防本部総務課
発刊 令和3年7月